

## 2 重点教科【英語】の取り組み

英語4技能「聞く」「読む」「書く」「話す」の「書く」部分に関して、これまで数行に及ぶ英作文指導はあまり実施されていない現状であった。そこで、授業改善の1つ目として、主題を設定し、それに対して Discourse Mark (つなぎのことば) 等を用いて、数行に及ぶ Essay (英作文) が書けるようパフォーマンス課題として与え、指導することとした。そしてこの授業改善を、考査の出題方法、内容を工夫し、評価することとした。この取り組みを(1),(2)で述べる。また、「聞く」「読む」「話す」の部分の取り組みについては(3),(4)で述べる。

### (1) 1年普通科：コミュニケーション英語 I

#### ループリックを用いたパフォーマンス課題の取り組み (Essay の作成)

##### ア 目的

- ① 自分の身近なテーマについて英語で表現できるようになる。
- ② Introduction(導入), Body(本論), Conclusion(結論)など、エッセイの基本的な形を意識して伝えられるようになる。

##### イ 準備

(ア)学習してきたこと

【6月】 “What’s your favorite season?” (好きな季節は何ですか。)について、Body で理由を2つ挙げて文章を書かせた。

##### 【夏休み課題】

“Write about your experience in your summer vacation.” (夏休みにしたことについて書きなさい。)について、Body を①時系列に書く、②追加情報を入れ、意見を深め、掘り下げていく2種類の書き方で書くように指示し、取り組みませた。

(イ)準備したもの

ワークシート (Introduction, Body, Conclusion を意識できるもの)

Conjunction Phrases 一覧 (以下、ワークシート抜粋)

下旬 at the end of～  
中旬 in/ at the middle of～  
上旬 at the beginning of～

##### つなぎの言葉を使ってみよう!

First,	はじめに	after that	その後
Second,	2番目に	finally	ついに、やっと
Next,	次に	soon	すぐに
Then,	そして	before～	～の前に

例・・・時系列に経験を述べる

[経験] I went to Kyoto in the middle of August.

[経験①] First, I headed for Ginkaku-ji temple by bus. I was very surprised that many tourists from foreign countries were on the same bus.

[経験②] After I got there, I was moved by the beautiful scenery and the atmosphere.

I also enjoyed the great view of Kyoto city from the hill by Ginkaku-ji temple.

[経験③] Then I dropped by a sweets shop and bought delicious cookies flavored Maccha for my family.

[結論] I had a great time in Kyoto.

( 85 words )

ウ 実施方法（ルーブリック等）

【夏休み課題】

自分で振り返りをするためのチェック欄を設けた。

【2学期中間テスト】

1年コミュニケーション英語Ⅰの定期テスト終了後、10分間実施。事前にルーブリック（表8）を生徒に提示、授業内で再度 Introduction, Body, Conclusion の構文と、Conjunction Phrases の確認をした。

	語数	語彙、文法	構成
4	40語以上書けている。		
3	30語以上書けている。	つづりや語法、文法*のミスが全くない。	つながりの言葉を1つ以上用いている。かつ導入、本論、結論の構造で書けている。
2	20語以上書けている。	つづりや語法、文法のミスが1つまたは2つある。	つながりの言葉を用いていないが、導入、本論、結論の構造で書けている。
1	10語以上書けている。	つづりや語法、文法のミスが3つまたは4つある。	導入、本論、結論の構造で書けているが、話に関係のない文が含まれている。
0	語数が10語未満。	つづりや語法、文法のミスが5つ以上ある。	導入、本論、結論の構造で書けていない。

表8：評価基準

注 テーマに沿っていないものは採点対象とはならない。

\* 文法ミスは主に文構造の誤りや動詞の形などのミスを指す。

エ 結果ならびに考察

(ア) 生徒の解答例

大半の生徒が指定の40語以上を書くことができていた。次に課題と思われる生徒の解答例を述べる。

【パターン1】

Conjunction (Ex. For example, first, second, For these reasons) は書けていて、基本的な文構造は書けているように思えるが、Bodyの内容が具体例や理由ではなく同じことを繰り返し書いていた。また、Conclusionの内容がそれまでと全く違う内容になっていることもあった。

【パターン2】

問題が全て英語で書かれていたため、問題の意味が理解できていない生徒もいた。また、質問に対する応答が合っていない解答も見られた。

(例1：“What do you do in your free time?” に対して、I want to~.と書いている。)

(例2：注意書きに Write about only one thing. と書いたが、2つのことについて書いている者もいた。)

(イ) 分析、考察

○文構造を意識することができるようになった。

○Conjunction Phrases を覚えた。

●論理の展開に課題あり。

→【今後の取組】いきなりエッセイを書かせるのではなく、練習の際は何を Introduction, Body, Conclusion に書くか、話の流れを先にイメージさせてから書かせるようにする必要がある。

●語数を増やすために関係のない文を入れてしまう。

→【今後の取組】練習でペアを作り、読み合う。文法よりまず内容、論理展開を意識してより具体的にするためのアドバイスや、論理が通じない部分を指摘し合うことができる機会を設ける。

(2) 2年普通科：コミュニケーション英語Ⅱ

ループリックを用いたパフォーマンス課題の取り組み (Essay の作成)

“Some people say that Nagoya is the best place for sightseeing in Japan. What do you think about that?”

ア 目的

- ① あるテーマについて自分の考えを根拠や具体例を述べつつ表現できるようになる。
- ② Discourse marker 等を用いてエッセイの基本的な形を意識して伝えられるようになる。

イ 準備及び方法

(ア) 学習してきたこと

以下のようなテーマについて自分の意見を述べ、理由を2つ以上書き、根拠や例を示しながら、掘り下げて行くよう指示し、取り組ませた。GW 課題と夏休み課題はALT に添削をしてもらい、各自振り返りを行った。

【GW 課題】

「あなたは本を読むとき、図書館に行って読むのと、書店で買って読むのとではどちらが好きですか。あなたの考えとその理由を書きなさい。」

【夏休み課題】

“Some people say that people today should spend less time using the Internet. Do you agree with this opinion?”

【2学期中間テスト直前練習問題】

“Some people say that going on a group tour is better than traveling alone. What do you think about it?”

(イ) 準備したもの

ワークシート

(ウ) 実施方法 (ループリック等)

コミュニケーション英語Ⅱの2学期中間考査終了後、10分間実施。事前に授業でループリック(表9)を提示しながら、例題を使って練習問題を与え、基本的な書き方や時間配分、Discourse Marker の使い方などの確認をした。

点	分量	内容	正確さ
4	テーマに沿った内容で、40語以上の文が書けている。		
3	テーマに沿った内容で、30語以上の文が書けている。	理由が2つ以上書けており、それぞれの理由を補強する文(具体例や補足など)がある。	複数文のうち、動詞の形、文構造などの誤りがない。
2	テーマに沿った内容で、20語以上の文が書けている。	理由が2つ以上書けているが、補強する文がない。	複数文のうち、動詞の形、文構造などの誤りが1つある。
1	テーマに沿った内容で、10語以上の文が書けている。	理由が1つしかない。	複数文のうち、動詞の形、文構造などの誤りが2つある。
0	テーマに沿った内容ではない。または、10語に満たない。	理由が書かれていない。または主題に対しての理由となっていない。	複数文のうち、動詞の形、文構造などの誤りが3つ以上ある。

表9：評価ループリック

\*全体を通して主題のテーマから外れている場合、採点の対象としない。

ウ 結果ならびに考察

【生徒の解答に対して】

- おおむねどの生徒も30語～40語は書けている。
- 基本的な文章構造 (Introduction, Body, Conclusion) はほとんどの生徒が理解できている。
- 具体例などを表す Discourse Marker の使い方は理解できている。
- 練習で指摘したポイントは意識できている生徒が多い。

以下に問題と思われる解答例を挙げる。

- 同じ表現の繰り返しが多い。使いこなせる表現や語彙が少ない。  
(例1: I love Misokatsu. And I love Kishimen, too.)
- 文構造のミスが多い。主語と動詞の組み合わせがおかしい。  
(例2: I enjoy in Nagoya is food.)
- 一般的ではない固有名詞に対する説明がない。  
(例3: There is Nagoyajo. It is beautiful!)
- 綴りミスが多い。

【今後の検討事項】

- 時間設定を検討すべきか。時間が足りない生徒が多かった。  
→ (今後の取り組み)  
テストの時間を、10分から20分まで延長する必要がある。
- 語数指定をどうするか。語数と正確さ、どちらを重要視するか。  
→ (今後の取り組み)  
指定された語数を書けている生徒がほとんどなので、文法ミスやつづりの正確さを要求していきたい。
- 教員同士のルーブリックの基準に差が生まれないようにする。  
→ (今後の取り組み)  
内容の評価をどのようにするか検討を重ねていく。

(3) 2年生コミュニケーション英語Ⅱ

＜コミュニケーション活動を中心として主体的対話的で深い学びを意識した取組＞

- ・自分の意見を自分の知っている英語で簡潔に伝えようとする。
- ・ジグソーリーディングを行い、グループで協力して内容理解をする。
- ・リーディング活動を得た情報を用いて、違うグループに読んだ内容を発表する。

英語は好きですか	好き 32%	やや好き 30%	普通 24%	やや嫌い 11%	嫌い 3%
英語は得意ですか	得意 11%	やや得意 11%	普通 21%	やや苦手 34%	苦手 23%
グループワークに主体的に参加できましたか	できた 54%	ややできた 16%	普通 20%	あまりできなかった 10%	できなかった 0%
グループワークの活動で、授業の内容の理解は深まりましたか。	深まった 61%	やや深まった 28%	普通 8%	あまり理解できなかった 3%	理解できなかった 0%
今回の取り組みは機会があればまた行いたいですか	是非やりたい 43%	やりたい 35%	普通 16%	あまりやりたくない 3%	やりたくない 3%
今日の授業の満足度は何%くらいでしたか	平均 90%				

(評価)

- ・音読活動の重要性を理解させることができた。
- ・一人ではわからない部分も教え合うことで理解が深まったという意見が多かった。
- ・自分の伝えたい内容を、相手に伝わるように簡潔な英語で伝えようとする意識を持たせることができた。
- ・単語のゲームなどを行うことで英語が楽しくなったという意見が多かった。

(4) 1年生コミュニケーション英語Ⅰ＜自分の意見に説得力をもたせて相手に伝える取組＞

- ・色の効果を使って、新しくお店をオープンさせるならどの色を壁紙に使いたいか伝える説得力をもたせるための取組

(ア)色の効果についての記事を読み、表にまとめる

①エッセイのひな型 OREO(Opinion **意見**, Reason **理由**, Opinion **意見**)で書かせる。

英語は好きですか	好き 5%	やや好き 29%	普通 34%	やや嫌い 24%	嫌い 8%
英語は得意ですか	得意 5%	やや得意 15%	普通 39%	やや苦手 13%	苦手 28%
グループワークに主体的に参加できましたか	できた 10%	ややできた 41%	普通 37%	あまりできなかった 12%	できなかった 0%
グループワークの活動で、授業の内容の理解は深まりましたか。	深まった 22%	やや深まった 37%	普通 29%	あまり理解できなかった 10%	理解できなかった 2%
今回の取り組みは機会があればまた行いたいですか	是非やりたい 0%	やりたい 34%	普通 46%	あまりやりたくない 17%	やりたくない 2%

- ・OREO というひな型を使うことで、理由を添えて自分の意見を伝えられるようになった。
- ・単元の最後の活動だったので、教科書の内容を復習しつつ、発展させることができた。